

議案第9号

職員の給与の支給に関する規則の一部改正について

平成29年3月22日提出 岩手県人事委員会 委員長 熊谷 隆司

第1 趣旨

一般職の職員の給与に関する条例（以下「給与条例」という。）及び市町村立学校職員の給与等に関する条例（以下「給与等条例」という。）の一部改正により、扶養手当の支給に係る職員の区分が設けられることに伴い、所要の改正をしようとするものである。

第2 規則案の内容

- (1) 扶養手当の支給に係る職員の区分が設けられることに伴い、行政職給料表の8級の職員に相当する職員に係る規定を追加すること。（第10条の2関係）
- (2) 平成29年4月1日から平成32年3月31日までの特例措置期間について、給与条例及び給与等条例の附則による読替えを行うこと。（附則第10項及び第11項関係）

第3 施行期日等（附則関係）

平成29年4月1日から施行すること。

職員の給与の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成29年 3 月 日

岩手県人事委員会
委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

職員の給与の支給に関する規則の一部を改正する規則

職員の給与の支給に関する規則（昭和38年岩手県人事委員会規則第20号）の一部を次のように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|----------------------------------|--|
| <p>(扶養手当の支給)</p> <p>第10条 [略]</p> | <p>(扶養手当の支給)</p> <p>第10条 [略]</p> <p><u>第10条の2 給与条例第27条第3項の人事委員会規則で定める職員は、次に掲げる職員とする。</u></p> <p><u>(1) 公安職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が9級であるもの</u></p> <p><u>(2) 教育職給料表(1)又は教育職給料表(2)の適用を受ける職員でその職務の級が4級であるもののうち給与条例第38条第5項の規定により職制上の段階、職務の級等を考慮して定められる割合(以下「加算割合」という。)が100分の20である職員</u></p> <p><u>(3) 研究職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が5級であるもののうち加算割合が100分の20である職員</u></p> <p><u>(4) 医療職給料表(1)の適用を受ける職員でその職務の級が4級であるもののうち加算割合が100分の20である職員</u></p> <p><u>(5) 医療職給料表(2)の適用を受ける職員でその職務の級が7級であるもののうち加算割合が100分の20である職員</u></p> <p><u>2 給与等条例第22条第3項の県人事委員会規則で定める職員は、教育職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が4級であるもののうち給与等条例第29条第5項の規定により職制上の段階、職務の級等を考慮して定められる割合が100分の20である職員とする。</u></p> <p>附 則</p> <p>1～9 [略]</p> |
| <p>附 則</p> <p>1～9 [略]</p> | <p>附 則</p> <p>1～9 [略]</p> <p><u>10 平成29年4月1日から平成31年3月31日までの間は、第11条中「給与条例」とあるのは「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(平成28年岩手県条例第73号)附則第5項の規定により読み替えられた給与条例」と、「給与等条例」とあるのは「市町村立学校職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例(平成28年岩手県条例第74号)附則第5項の規定により読み替えられた給与等条例」とする。</u></p> <p><u>11 平成31年4月1日から平成32年3月31日までの間は、第11条中「給与条例」とあるのは、「一般職の職員の給与に関す</u></p> |

| | |
|--------------------|--|
| | <u>る条例の一部を改正する条例（平成28年岩手県条例第73号）</u> <u>附則第6項の規定により読み替えられた給与条例」とする。</u> |
| 備考 改正部分は、下線の部分である。 | |

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

職員の給与の支給に関する規則の一部改正について

1 改正の趣旨

扶養手当制度の見直しに係る改正が行われた給与条例等により、行政職給料表 8 級以上に相当する他の給料表適用職員については、人事委員会規則で定めることとしていることから、所要の改正を行うもの。

<各年度における扶養手当の手当額（月額）>

（単位：円）

| 年度 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度以降 |
|------|--------------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 扶養親族 | 行政職給料表 7 級以下 | 13,000 | 10,000 | 10,000 | 6,500 | 6,500 |
| | 行政職給料表 8 級 | 13,000 | 10,000 | 10,000 | 6,500 | 3,500 |
| | 行政職給料表 9 級以上 | 13,000 | 10,000 | 10,000 | 6,500 | （支給しない） |
| 子 | | 6,500 | 8,000 | 8,000 | 10,000 | 10,000 |
| 父母等 | 行政職給料表 7 級以下 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 6,500 |
| | 行政職給料表 8 級 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 3,500 |
| | 行政職給料表 9 級以上 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | （支給しない） |

- （注）1 「行政職給料表 7 級以下」、「行政職給料表 8 級」及び「行政職給料表 9 級以上」には、これらに相当する職務の級を含む。
- 2 職員に配偶者がいない場合の扶養親族 1 人に係る手当額については、平成28年度は11,000円、平成29・30年度は子10,000円・父母等9,000円、平成31年度以降はこの表に掲げる子又は父母等の額とする。

2 改正の内容

(1) 行政職 8 級相当職員の指定（第 10 条の 2 関係）

給与条例に定めのある行政職給料表 8 級以上に相当する職員（期末手当の加算割合が 100 分の 20 である職員）を指定すること。※行政職 9 級及び 10 級の職員を除く。

| 行政職 8 級相当 | | | | | | |
|-----------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|
| 公安職 | 教育職(1) | 教育職(2) | 研究職 | 医療職(1) | 医療職(2) | 医療職(3) |
| 9 級 | 4 級 | 4 級 | 5 級 | 4 級 | 7 級 | — |

※表中記載の級のうち、期末手当の加算割合が 100 分の 20 である職員

（理由）

- ・ 特例減額における行政職給料表 8 級以上に相当する職員は、職務及び職責に基づき指定しているものであるが、職務及び職責が行政職給料表 8 級以上と同等であるとしている他の給料表の相当職についても、職務給の原則により、行政職給料表適用者と給与水準が同程度とみなすことが適当であること。
 - ・ 本県における現行制度の取扱い（給与の特例減額、期末手当の職務加算、退職手当の調整額等）とも整合性が図られること。
- ※ 行政職 9 級以上職員等については、国に準じて特別調整額 1 種の職を標準職務とする職務の級を指定することが適当であり、本県では行政職給料表 9・10 級のみであることから他の給料表の相当職は指定しない。

(2) 経過措置期間における読替規定（附則第 10 項及び第 11 項関係）

扶養手当の支給対象職員に係る規定について、給与条例等において経過措置期間に適用される読替規定が置かれることから、所要の改正を行うこと。

3 施行期日

平成 29 年 4 月 1 日から施行すること。

5 参考

【行政職 8 級以上相当の職員の年間給与額】

| 給料表 | 級 | 特別調整額区分 | 年間給与額 | 相当職 |
|--------|------|---------|--------------|------------|
| 行政職 | 10 級 | 1 種 | 11,029,000 円 | 行政職 9・10 級 |
| | 9 級 | 1 種 | 10,668,000 円 | |
| | | 2 種 | 10,358,000 円 | |
| | 8 級 | 2 種 | 9,368,000 円 | 行政職 8 級 |
| | | 3 種 | 8,957,000 円 | |
| | | 4 種 | 8,843,000 円 | |
| 公安職 | 9 級 | 2 種 | 9,510,000 円 | |
| 教育職（１） | 4 級 | 2 種 | 9,507,000 円 | |
| | | 4 種 | 8,988,000 円 | |
| 教育職（２） | 4 級 | 4 種 | 8,657,000 円 | |
| 研究職 | 5 級 | 2 種 | 9,545,000 円 | |
| | | 3 種 | 9,124,000 円 | |
| 医療職（１） | 4 級 | 2 種 | 10,811,000 円 | |
| 医療職（２） | 7 級 | 3 種 | 8,595,000 円 | |

※１ 勧告後の給料・特別調整額・期末勤勉手当により算定（その他の手当は含まれていない）。

※２ 経過措置なし、特例減額前の数値による。

【職員の給与の支給に関する規則（抜粋）】

（扶養手当の支給）

第 10 条 給与条例第 27 条第 2 項及び給与等条例第 22 条第 2 項に規定する他に生計の途がなく主としてその職員の扶養を受けているものには、次に掲げる者は含まれないものとする。

（１） 職員の配偶者、兄弟姉妹等が受ける扶養手当又は民間事業所その他のこれに相当する手当の支給の基礎となっている者

（２） 年額 130 万円以上の恒常的な所得があると見込まれる者

第 11 条 給与条例第 28 条第 1 項及び給与等条例第 23 条第 1 項の規定による届出は、扶養親族届（様式第 1）又は電磁的方法により行うものとする。

第 12 条 給与支給権者は、前条に規定する届出があったときは、その届出に係る事実及び扶養手当の月額を認定しなければならない。

2 給与支給権者は、前項の規定により認定した職員の扶養親族に係る事項その他の扶養手当の支給に関する事項を扶養手当認定簿（様式第 2）に記載し、又は電磁的方法により記録するものとする。

3 給与支給権者は、第 1 項の認定を行う場合において必要と認めるときは、職員に対し扶養の事実等を証明するに足りる書類の提出を求めることができる。

第 12 条の 2 給与支給権者は、現に扶養手当の支給を受けている職員の扶養親族が給与条例第 27 条第 2 項又は給与等条例第 22 条第 2 項の扶養親族たる要件を具備しているかどうか及び扶養手当の月額が適正であるかどうかを随時確認するものとする。この場合においては、前条第 3 項の規定を準用する。

第 13 条 扶養手当は、給料の支給方法に準じて支給する。ただし、給料の支給日までに扶養手当に係る事実が確認できない等のため、その日に支給できないときは、その日後に支給することができる。

2 職員が所属機関又は職を異にして異動した場合においてその者に係る給与の歳出予算科目が異なるときにおけるその異動した日の属する月の扶養手当は、前項の規定にかかわらず、その月の初日における職員の所属機関又は職に係る給与の歳出予算科目の区分に応じ、その月分を支給する。

【国の取扱い】

行政職俸給表適用者については、一定以上の給与水準にある本府省課長級（特別調整額一種）は原則不支給、ただし本府省課長級だけではなく本府省室長級（特別調整額二種）も含まれる行政職俸給表 8 級については一部支給としているもの。

(1) 行政職俸給表の職務の級の分類

本府省における職務の級の分類（代表的な官職の例）

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|
| 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 | 7 級 | 8 級 | 9 級 | 10 級 |
| 係員 | 主任 | 係長 | | 課長補佐 | | 室長 | | 課長 | |
| 特別調整額→ | | | | | | 二種 | | 一種 | |

(2) 行政職俸給表 8 級以上に相当する他の俸給表の職務の級

| 国 | 行政職 8 級相当 | 行政職 9・10 級相当 |
|-----------|-----------|--------------|
| 公安職俸給表（一） | 9 級 | 10・11 級 |
| 研究職俸給表 | — | 5・6 級 |
| 医療職俸給表（一） | — | 4・5 級 |
| 医療職俸給表（二） | 8 級 | — |
| 医療職俸給表（三） | 7 級 | — |

【東北他県の状況】

岩手県：行政職 8 級相当職について、期末手当の加算割合が 100 分の 20 である職員を指定

青森県：国準拠

宮城県：勧告なし

秋田県：国準拠

山形県：国準拠

福島県：研究職給料表の給料表水準が国よりも低いため、行 8 級相当として指定しない

| 県 | 行 9・10 級相当 | | 行 8 級相当 | | | | | | |
|-----|------------|------|---------|------|------|-----|------|------|------|
| | 公安 | 医(1) | 公安 | 教(1) | 教(2) | 研究 | 医(1) | 医(2) | 医(3) |
| 岩手県 | — | — | 9 級 | 4 級 | 4 級 | 5 級 | 4 級 | 7 級 | — |
| 青森県 | — | 4 級 | 9 級 | — | — | 5 級 | — | — | — |
| 秋田県 | — | 4 級 | 9 級 | — | — | 5 級 | — | — | — |
| 宮城県 | | | | | | | | | |
| 山形県 | — | 4 級 | 9 級 | — | — | 5 級 | — | — | — |
| 福島県 | 10 級 | 4 級 | 9 級 | — | — | — | — | — | — |